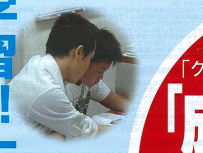
中学生の諸君へ

「無料の個別学習!!」

クラス授業でわからないところは自習室でもう1度やってみる。教師にトコトン聞く。クラス授業教材に加え個別用プリントも完備。成績を伸ばすには「自分を越えようとする気力」言いかえれば「自分の弱点を見い出し、克服していく力」を育てることが重要です。「自分に打ち勝つ重要性」を本妙寺で学び、勇気をもって未来を切り開いて下さい。ライバルはあなた自身です。

英語 43点(中2・1学期中間) → 90点(中2・2学期期末)
理科 69点(中2・1学期中間) → 81点(中2・2学期期末)
数学 61点(中2・1学期中間) → 85点(中2・2学期期末)
社会 70点(中2・1学期中間) → 91点(中2・2学期期末)
国語 60点(中2・1学期中間) → 72点(中2・2学期期末)

奥田君 中2時 実例



小1～高3

「クラス授業」＋「無料個別学習」

「成長する春」宣言

「教育支援キャンペーン」
「無料体験授業」実施中!!

YAHOO! JAPAN Google で検索
本妙寺進学ゼミナール 検索

「信頼できる教師」を求める諸君へ

「情熱のクラス授業!!」

教室での「クラス授業」は真剣勝負!重要なポイントでは教師の熱い声がひびきます。「勉強すること」は「丸暗記」することではなく、「考えることである」ということを徹底して指導し、将来の「礎」となる「実力の育成」を目ざします。これが大手進学塾をはるかにしのぐ実績の理由です。我々の目標は進学してからも「伸びる生徒づくり」です。
新年度から新たな生徒と共に「熱い授業」が始まります。

地域No.1
22年度五ッ木テスト
本妙寺生が上位独占!
7月テスト 1位・2位・4位
10月テスト 2位・3位・4位
1月テスト 1位
―浜井中3男ペー

新中1生・小学生の保護者の方へ

「学びの春」…「可能性の春」

「春休み」は「塾」をスタートする絶好のチャンスです。

「塾なんてまだ早い。中学になってから…。」と考えている方も多いのではないでしょうか？ しかし、中学での成績不振の原因は、小学校3・4年生のつまづきにあります。
「ゆとり教育」に起因する小学生の「基礎力低下」は学年がすすむにつれ大きな障害となって現れます。
春休みはこれまでのつまづきを整理する絶好のチャンスです。ヤル時はヤル。遊ぶときは遊ぶ。生活にメリハリとリズムをつけ集中力を養う。これまで学校でも、計算教室や習い事でも経験したことのない達成感。この春からの入塾は高学年や中学へ向けての貴重な第1歩となるでしょう。
「鉄は熱いうちに打て」!小学生・新中1からの学習の開始は、学校での負担を減らし、クラブと学習の両立を可能にします。早期入塾は子供の可能性を広げます。

塾えらびに迷っている保護者の方へ

「着実な成績向上!!」

ブランドで塾を選びますか？ 実績で選びますか？

カルチャーセンター化している大手塾が多い中、本校は「人間力」を高めると同時に「成績向上」をめざす本物の「私塾」です。
「思い切ってもっと早く転塾させておけばよかった…」と言う声をよく頂きます。生徒の成長が我々の励みであり、我々教師の「熱さ」「厳しさ」は生徒への「愛情」の証しです。
ねばり強く本妙寺は生徒と共に歩みます。

定期テスト平均点（中3）※平均は上位報告

英語	国語	数学	理科	社会
90点	83点	78点	88点	79点

祝・合格
―私立高校 併願者11名―
初芝富田林（高等） 1名
清教学園（文理） 2名
帝塚山学院（理S） 1名
学芸 特待生（国語） 1名
初芝 立命館（立命） 3名
四天 王寺（王寺） 1名
飛鳥 附（飛A） 2名

90点 英語 → 65点 数学 → 68点 社会
手塚君 小6時 実例（2ヶ月 中2 本田君（仮名））

78点 英語 → 55点 数学 → 55点 国語
家庭教師より転塾1ヶ月 中2 山崎さん（仮名）

ジュニア科開講［小1・2・3/国算 計4名］

・塾教材を用い学校授業の理解を深め、低学年に不可欠な基礎力を定着させます。

いまが入塾のチャンスです 月額 8,400円

What's New

―教育支援キャンペーン―

―「学ぶ喜びをのがさぬために」―

❶ 小学生の弟妹特講（春・夏・冬）無料
❷ 小・中の弟妹　月額授業料25%off

お兄さん・お姉さんが中学部本科生※なら、小学部の弟さん・妹さんの特講は無料となります。
また お兄さん・お姉さんの 塾にかかわらず 弟さん・妹さんの月額授業料は25%offとなります。
※中1は3教科コース ※2・3は5教科コースを2教生が対象。

特講日程

新学年スタート春期講座 3/25～4/6

第1回説明会 2月27日(日)13時より
第2回説明会 3月12日(土)16時より
第3回説明会 3月26日(土)13時より

お問い合わせ
■無料体験授業は随時実施致します。 電話予約:受付pm6:30～pm10:00
■必ず、御予約の上御来校下さい。 ☎278-0603

ホームページアドレス http://www.honmyoji.com

本妙寺進学ゼミナール

茨井校:東井中区茨井荻町2710-3 浜野校:JR・南海「浜寺公園」駅すぐ ☎278-0603 / FAX 278-0703

2011年度 新入生募集

自信のもてる人間を育てたい

迷っているだけで何もしなければ何も変わりません。情熱を持ってガンバルあなたをバックアップします。

Seminar（ゼミナール） クラス指導 本科コース

小学部・中学部の特徴

「通常授業」＋「個別学習」のダブルトレーニング

当ゼミナールは、定期テストで周囲の友と内申点を高めるための「通常授業」に加え、実力テストや入試に備える「個別学習」（プログラム学習）を生徒の能力に合わせて行っています。これにより、無理なく成績を伸ばすことができます。

クラブと勉強の両立を可能にする補習授業

タイムリーな指導こそが成績を向上させる秘訣です。通常授業日以外にも補習授業を開講し、中日・週末を問わず、希望者には補習指導を行います。定期テスト・個人テスト対策勉強会は、対策開始中だけでおよそ30時間にのぼります。クラブの忙しい時にこそ勉強ろうと、生徒が自主的、積極的に対策勉強会に参加しています。

成績の推移がわかる進研テスト

進研テストを随時実施。全国レベルでの成績を把握し、弱点科目、弱点単元の克服ならびに苦手な進路指導に活用しています。

少人数指導のクラス編成

平均クラス人員は7名、全クラス15名以内の少人数制を完全実施。きめ細かい指導や成績の向上につながります。

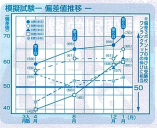
塾が勉強部屋／自習スペース・ティーコーナー

「個別学習」を行う生徒のために、通塾日以外の日も自由に利用できる自習スペースを設けています。開塾時間帯であれば いつでも利用できます。また、自習スペースにはティーコーナーを設置。カフェオレ・ウーロン茶などで疲れた頭をリフレッシュ、最終時の学習をサポートします。

英語アクセラーコース（小5・6対象）

2002年度から多くの小学校で「英語授業」が導入され、「入試科目」として「英語」を検討している中学校も現れています。これまでも、短期間で英語スクールなどを体験しているはずが「おそくの要素」が多く、実際の「英語力」につながっているものはほとんどの家庭がもたらしていません。
当ゼミの「英語アクセラーコース」では「完璧な発音」にとどまることなく、楽しみながら基礎文法力を基盤にした授業を行い、海外留学・英会話をはじめ将来の高等教育につながる「英語力」の定着を図ります。

模擬試験 ― 偏差値推移 ―



高等部の特徴

理系・文系を問わず、授業・入試で避けられぬ教科…「英語」。高校英語の基礎力をつけた後、入試へと一気に「大学入試の基礎英語」を中核にすえ、「大学入試の現代国語」を開設。「学校授業の定着」「関係合格」を目指す高校生を強力にサポートします。

▼ 開講授業

「大学入試の基礎英語」（英文読解）	大学入試に必要な「高校英語」の基礎力を定着させ、特待等文の理解と読解増強を目指し、長文読解指導や文章ポイントします。
「大学入試の基礎英語」（英文法）	「基礎英文法」は高校英語の基礎を踏まえながら入試の基礎能力を養成します。【高1】「発展英文法」は大学入試に適応した問題の解法を学び、即戦力の増強を図ります。【高2・高3】
「大学入試の現代国語」（論説・評論）	哲学的命題から社会文化論にいたるまで、現役高校生の視点である論説文中心に講義し、入試の即戦力を養います。また、小論文対策も指導に当たっています。

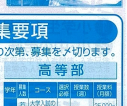
「可能性」を伸ばす教育

全ての生徒は、未知なる「可能性」を秘めています。しかし、現実には、もともとよくできる生徒だけが良い大学に進めているのではありません。これは、学校不振に悩む生徒を数多く、学力向上に導めるべき「学校」や「塾」の本来の姿を見失っているのです。「やりたい、チャレンジ」一個々の生徒の「可能性」を最大限に伸ばすこと、これが、教育の基本であると考えます。

「心」を基本とする教育

青少年期においては、どの生徒も多かれ少なかれ「悩み」をかかえています。その「悩み」の内容は、「友人関係」であったり「恋愛問題」であったりと様々です。時として「悩み」はマイナス・エネルギーとして、勉学意欲の減退、生きる力を失ったりすることもあります。その点を重視することは、その「生徒」を個々に取り上げるだけでなく、立体的かつ、自分自身の成長を考えることです。「心」の教育は生徒の「最終性」を育てます。また、本科生であれば塾生へ悩み相談も行っています。

「未来」につながる教育



「志望校合格」は、入生の通過点であって最終ゴールではありません。個にレベルの高い学校へ入学せることを最終目的とした場合、入学後多くの問題をかかえることになります。志望校であったとしても「自分はどうなることを目指しどの学校、どの学科が最適かの相談」とともに志望校に適しているかも相談し志望校を選択します。多くの塾再生生徒の志望校相談を通じ、志望校を高いレベルにひき上げるのはその「逆」です。

2011年度 生徒募集要項

・3者面談の上、申込み順に入塾受付。　・定員になり次第、募集を〆切ります。

小学部

学年	月謝(入塾)	コース	選択/必修	授業数(週)	授業料(月額)
小1	6,400円	ジュニア科		週1・1回	8,400円
小2	6,400円	本科コース	必修	週2・2回	13,000円
小3	6,400円	本科コース	必修	週2・2回	14,000円
小4	6,400円	本科コース	必修	週2・2回	16,000円
小5	6,400円	特進コース	個別		別料金コース参照
小5・6	6,400円	英語アクセラーコース	個別	週1	7,000円

●授業時間は70分です。●別途、入塾費・指導関連費（テスト費など）を頂きます。●教材費は別途申し受けます。●定員になり次第、締め切ります。●消費税は別途申し受けます。

中学部

学年	月謝(入塾)	コース	選択/必修	授業数(週)	授業料(月額)
中1	6,400円	特待理数コース	必修	週5・6回	21,000円
		特進志望コース	選択	週4	12,000円
		特進基礎コース	選択	週4	12,000円
中2	6,400円	特待理数コース	必修	週5・6回	23,000円
		特進志望コース	選択	週4	12,000円
		特進基礎コース	選択	週4	12,000円
中3	6,400円	特待理数コース	必修	週5・6回	25,000円
		特進志望コース	選択	週4	15,000円
		特進基礎コース	選択	週4	15,000円

●「中全教科コース」以上を選択した場合は、通塾。●消費税は別途必要です。

高等部

学年	月謝(入塾)	コース	選択/必修	授業数(週)	授業料(月額)
高1・2・3	6,400円	大学入試の基礎英語（英文読解）	選択	2・1コマ	25,000円・21,000円
		大学入試の基礎英語（英文法）	選択	1	8,000円
		大学入試の現代国語	選択	1	8,000円

●「中全教科コース」以上を選択した場合は、通塾。●消費税は別途必要です。

"教育の外科医" 本妙寺 塾長に聞く!!

Q "教育の外科医" の由来を教えて頂けないでしょうか？

A イギリスの日本人学校に来ていた頃、当時の校長からつけて頂いたニックネームです。
成績の悪い生徒や、問題を持ってきた生徒を短時間で多く再生させることが理由だと思います。

Q では成績の良くない生徒を再生させるのに、どういった手法を用いられたのですか？

A 方法論のわりますき教師にとって最も重要なことは、生徒と正面から向き合い、生徒の問題を自分の問題として感じることです。理解するのではなく、感じることを下さればの学と解決方法は見えてきます。具体的に言うと成績が伸び悩む理由は多くて3つあります。その1つは家庭環境に問題がある場合です。例えば両親による過保護やその逆の過度な放任、父親不在等です。最近特に多いのは、片親の父親世代特有な教育方法を受けた母親の影響力も強く、暴力的、また必要以上に厳しすぎる、もしくは全く関心がない、自立心や向上心の芽を摘んでいるケースです。自分が上者でいてあげることが出来ないことなっている、家庭環境に問題がある場合、その原因を早急に改善しなければ、あの手この手と試しさって、その子の心を開かせることはできません。
2つめは、問題の生徒に対する接し方です。生徒は皆、自分の問題点がわかっています。もっと自立な問題があります。それは恋愛です。もっと自分を理解してほしい、もっと甘えてほしい、もっと愛してほしいと思っています。しかし、それに対して、ほとんどの大人は、その子の心の叫びを無視してしまいます。その理由は、「勉強しなさい」「宿題やったの？」「遊ぶな」「ゲームばかりしてないで本を読みなさい」「塾に行きなさい」「早く寝なさい」「早く起きなさい」「ご飯食べなさい」「ゲームやめなさい」「テレビ消しなさい」「お風呂入りなさい」「歯磨きしなさい」「着替えなさい」「片付けなさい」「勉強しなさい」「勉強しなさい」「勉強しなさい」…。
この様な言葉ばかりを聞かされていては、子供は不安を感じ、自分を理解してもらえないと思い、心を閉ざしてしまいます。
3つめは、家庭環境や生徒自身に問題がない場合です。この場合は、教師の指導力が問われます。
先生はよく、自己満足しないものごそ大切だ！と生徒に言っておられるようですが…。

A 入塾して半年を過ぎた生徒と、どんなに自己満足をよくするよう、「君はおだけを信じるかり」とかな（笑）。当然自己満足していた生徒ほど、厳しい言いたい方を逆恨みする。「何故厳しいのだ！と怒る。「どうして気にとってくれない。」私は心の中で（やった！その言葉を待っていた。）と心ないえて（笑）。（とこうで、他人の悪口ばっかりと。「嫉妬！」と生徒。「何故？」「怒り！」すかで学ぶ！「何故自分の話てくれるんやろ？」生徒「…。」「嫉妬」「自慢」！「自尊心」！「反発」！「勇気」等。自己は成長なくても嫌がり所在していたものがある。そして不確実だけれど、自己に見えないものや確信することが、自己に見えるものや信じるより、生きていくことの大切なことや生徒に教えてくれました。問題に、自己に見えていき、また自己見えていると思っているものが、実は自分が見たことのように思い込んでいるだけということがよくあるんと思う。生徒達に分かって欲しいです。

Q そのことは成績とも関係があるんですか？

A 自己に見えるものしか信じない人間。悪しく見え成績物的の一物質的思考をする人は最近ご対する場合が多い。「科学万能の時代に…」なんて言っている、そも私は科学は信じて万能ではない。他の物にはまだ分からないことが山ほどあります。自己見える世界が小さく狭いない人は、自分の見たもの以外信じないので視野が狭くなり、また成績でもあるため、人の話を聞かない、行間が読めない、いつでは物理・物質力が低下する。ソクラテスが「汝の無知を知ることこそ学問への第一歩である」と言ったが、まさにその通りなんです。実践を経験無知だと言う人がいますが、実は経験力を高める絶対下地力、社会は自己を絶対するある意味必要時もんです。自己見えるものしか信じない生徒は絶対に頭脳が良い、賢打力が高いんです。学歴人生は非常にいいんですが、と思いいた大学時代に、あるを有名な天文学教授は次のように言ったそうです。「もし地球の生命体がいないとすれば、広い宇宙が空虚ないとも言えるだろう。」私はこの授業がとても好きです。

Q 先生がおっしゃるような能強を始めるには、いつ頃が良いのでしょう？小学校からの入塾は少し早いように思えるのですが…。

A 今まで申しましたことは、教育効果を上げるには、生徒があれかれ、生徒の能力を見極めるの必要があるということなんです。その理解度に個別差が大きく、特に年齢が小さければ小さいほど、クラス授業が本格的な学力向上効果を上げる事は難しくなります。そう考えるとの4から5の学習能力と言います。実際にこれまでの経験から言えば、高校入試・大学入試の結果から見ても、ここ10年ほどは、中2以降の入塾となると、ほとんどの生徒は、いくら大きなカリキュラムを組んでも、また、時間をいくら増やしても、入試本番で、思うような結果が出ないことが多いのです。
小学部のうちの自己学習という力が勉強の基礎を学ぶ上で大切なカリキュラムであり、また、授業時間をいくら増やしても、理解に乏しい力が身に付くことはありません。
中1、中2、中3からでも受け入れて頂けるのでしょうか？

A 勉強大丈夫です。学校が終わるまでに、質問をそのまま残しておくことが一番いけないんです。ここからが「青春の外科医」の登場というところです（笑）。質問を解明しつつ、中1・中2では基礎教科を中心に指導し、中3では5教科を様々な学習を行って強化していきます。高い理念から、志望校合格を目指すコースから、その学力に合った様々なコースがあります。数学が苦手な生徒や英語が苦手な生徒でも、高校への志望校の自由自在をそろえ、その過を促進したクラス編成があります。どのようで驚くことは無の通りです。今後、個々に応じて、今、そして今後どうあれば最高に成績とどのようすれ、そんと学習意欲が湧いた時点で、成績アップは難しい作業ではないのです。

Q 学校や塾に対し教育効果がかなりなく、安全性も要求されているように思うのですが。

A 教育活動に関わる者、具体的に言えば、教師や塾講師がその職務を、責任を発揮することと考えるのか、生徒の生活全般の面倒を見ることだと考えるのか、その違いが安全性の違いに直接します。教師は生徒直接指導の下で起きた事故や、生徒社会トラブルに対処するべきです。学校の生徒の問題について先生の立場で、親子問題による家出・交通事故・生徒間のトラブル・恋愛問題・家庭問題・退塾届による家への訪問・不審者の侵入等を行い、大抵が小規模に、小規模段階に解決する様、安全性を重視した、危機に際立てる危機管理の体制をとっているものです。安全対策のマニュアルや教師研修期間は、なければならず、安全性が優先しますが、生徒の保護との安全を確保するのは教師の責任にあると思います。教師の指導から高校部が生徒をそれぞれ担当しながら、生活指導から生活指導の下で行っていただいたりやセクト生活まで、その個別で生活は指導にて行います。思い焼えれば教師を通して、いかに"生きる力"を教え、共に学ぶ姿勢が教師に求められているのかもしれません。

Q 先生から見て今の学校や塾の問題点は何だと思いますか？

A 学校に関して一言で言えば、セクトだしている、先生同士が思いの情報を共有していないし、よほどのことがないと校長も先生方の指導に指導するできない、学校の方向性、つまり「学校の顔」が見えないと言った感じいのでしょうか？ 塾に関する問題点は全くない、まず、入塾テストに合格した一握の生徒を個々入れる塾がいます。それらも塾というものの加入にあるのかがわからない、勉強ができない生徒を、できる生徒にするのが塾の本分だと思うのですが…、できる生徒に教えるのかと、今の学校とお塾が大差ないレベルやセクトで思っています。どの様な大学生にでも教育指導にある塾が、塾教師学・生徒間の講師について最も学ぶことは思いませんが、多く存在しているとです。塾が教育という側面より、サービスの側面が強調され過ぎ、このことが多くの問題発生の原因なっていると思います。

Q この塾に来れば先生から直接指導が受けられるのですか？

A 幸か不幸かかいう塾なので、当然私が指導することになります（笑）。小学部では協議と英語、高等部では英語と英語指導を担当しています。大学生のアルバイト講師を雇入いますが、全くこれまでの一年に生徒も、私の大学入試まで指導して生徒はりです。今では私の教育方針を十分理解してくれているパートナーとなっています。

Q 最後に保護者の方や生徒さんにメッセージを。

A 学力テストも高校入試も大学入試も目指ではありますが、それは入生の過程にすぎません。ややもすれば、近視眼的になりこれあまず志望校にたった…」「入試に合格したらすれば…」と思い、思い成績をのばすことを目標として一時的、行り得る勉強をしますでも本当に大切なのは不合格なのです。一流の政治・一流の大学一流の企業・多くの仕入れられる人間に入生で本当に大切なことは、「勉強」「勉強」「勉強」の連続ではなく、人間として「学ぶ」「自ら」「もの」を「自ら」「もの」を「自ら」「もの」を